

ブナクラ谷から猫又山、大猫山

山行日：平成 23 年 9 月 24 日(土)～25 日(日)

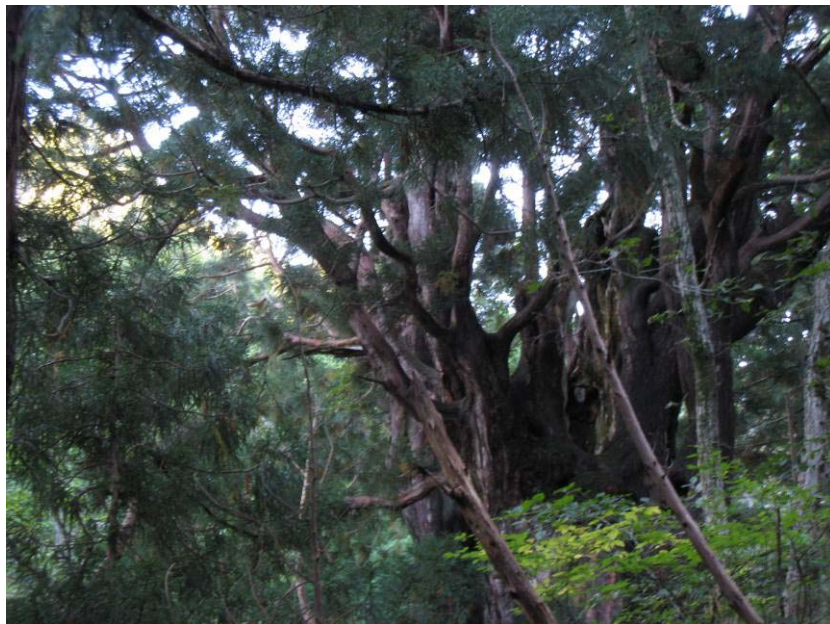
メンバー：L 石津和、SL やまたくお、布田、lady、ざ・料理人、岩倉

9 月 24 日(土) 晴れ

馬場島・白萩川林道ゲート前P(6:32)ーブナクラ谷堰堤P(7:06)ー大ブナクラ谷渡渉(7:25)
ー仁王杉(7:57)ータクラ谷渡渉(9:23)ーブナクラ峠(11:14)ー猫又山ビバーク地点(14:45)



ブナクラ谷堰堤駐車場・普段はここまで入れるのだが・・・(7:06)



立山杉かなあ・・・仁王杉と銘板があった(7:57)

白萩川林道ゲート前に駐車してブナクラ谷堰堤から入山する。ゲート前の駐車車両の割に人は見当たらない。堰堤の右岸から谷に沿って進む。登山道には立山杉と称される巨木があちこちに見られ、木を見て歩くだけでも楽しい。渡渉を繰り返しながら谷を詰め、タクラ谷と思われる沢にてプラティパスを満タンにした。



ブナクラ峠直下(11:11)

ブナクラ峠で赤谷山は見送り、左折して猫又山に向けて進む。いきなりの急登と激藪で先が見えず、日帰り下山者から「まだずっと藪ですよ」の激励をいただき途方に暮れる。赤谷山をパスして正解であった。笹藪の中を 2 時間あまり、猫又山のたおやかな峰が見えてきた。



やっと藪を抜けた・・・後ろに劔岳(14:07)



山頂直下にビバーク (16:18)

夜は、白馬山荘、唐松岳頂上山荘、五竜山荘、室堂の小屋の灯りを数え、瞬く銀河と細めの三日月に酔いしれた快適な一夜を過ごした。

9月25日(日) 晴れ

ビバーク地点(5:59)ー猫又山(6:09)ービバーク地点(6:35)ー大猫山(8:25)ー大猫平(8:58)ー
ブナクラ谷堰堤P(12:05)ー白萩川林道ゲート前P(12:49)



猫又山からの眺望・釜谷山、毛勝山の向こうに日本海(6:09)

3時半起床、朝食を済ませて山頂に向かった。山頂付近には霜柱が見られ、池塘には薄氷が光っていた。数年前の五月に越えた釜谷山、毛勝山が目前に迫り、眼下には富山平野と

日本海が見える。猫又山から大猫山への下降点は大岩にマーキングがしてあるが、ガスに巻かれると見つけにくいので注意が必要である。大猫山は稜線上に小さなピークが連なり、顕著なピークはない。出発から2時間もかけてやっと山頂の目印を見つけた。



大猫山山頂目印は三角形の旗・オレンジ色のザックは布田さん(8:26)



池塘が点在する大猫平(8:58)

大猫山から軽く下って大猫平に出た。大猫平は池塘が点在し、池塘は冷たく澄んでいて水草が茂っていた。チングルマなどの高山植物が群生していて7月ごろは一面のお花畑であろう。紅葉を先取りするつもりであったが、まだまだ何処も色づいていなかった。大猫平からは、標高差1000mの大下りが待っていた。(記 石津和)